

○参加選手

1 体温について

① 2日間（大会前日及び大会当日）連続で体温が37.0度を超える場合は参加できません。

② 大会当日の朝、はじめて37.0度を超えた場合についても参加を見送ってください。

※参加料については返金いたします。ただし、各校顧問から申込先担当者へ連絡すること。

2 発熱以外にも咳やのどの痛み等の症状があり、体調が悪い場合についても参加を見送ってください。

3 マスクの着用を必ずお願いします。特に下記の場所・状況においては注意すること。

招集所、参加受付時、着替え時、会話時等

（なお、競技中、ウォーミングアップ中は着けなくてもよい。）

4 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施をお願いします。

※石けんや消毒等については各チームで準備してください。

5 競技に参加する際は、各自で手洗い・消毒を済ませた後、招集所へ来ること。また、競技終了後、ただちに各自、手洗い・消毒を行うこと。

6 観客席や控え場所において、観客や選手同士との距離を2m以上確保してください。

7 応援は周囲と間隔をとり、密にならないように気を付ける。連呼など集団で集まったの応援は禁止とする。

8 個人・またはチーム内で出たごみは各自自宅へ持ち帰ること。

9 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

○保護者・選手の関係者

極力、来場しないようにお願いします。

※来場される際は、該当校の顧問より入場許可書（※陸協指定）を受け取り、当日持参してください。また参加許可書が無い場合は会場入り口にて「氏名・連絡先（携帯電話番号可）」の記入をお願いします。

なお、入場後は参加選手と同様の対応をお願いします。

競 技 注 意 事 項

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

また、新型コロナウイルスへの対応については、十分注意し、参加すること。

1 練習について

- ・練習時の順番待ちをする際は、他の選手との距離を十分取ること。
- ・用具の共有は極力避けること。

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路7～11レーンのみとする。
- ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
- ・第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いW-UPまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

棒高跳について

競技開始60分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がないように、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

・アスリートビブス（ナンバーカード）は指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。

- ・トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。
- ・3000m以上の種目は別アスリートビブス（ナンバーカード）を使用する。別アスリートビブス（ナンバーカード）は招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は、第4ゲート付近とする。
- ②選手招集開始・完了時刻は下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド種目	競技開始40分前	競技開始30分前
フィールド種目（男子走幅跳）	競技開始60分前	競技開始50分前
フィールド種目（棒高跳）	競技開始70分前	競技開始60分前

ただし、以下の競技の招集完了時刻に注意すること。

種目	組	招集完了時刻	種目	組	招集完了時刻
1000m	1～3組	競技開始20分前	1500m	1～2組	競技開始20分前
2000m	4～6組	競技開始 5分前		3組	競技開始 5分前
4000m	7～8組	競技開始10分後			

- ③招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

5 競技について

- ①競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ②その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥男子5000mはグループスタートとする。
- ⑦レーンで行う競技種目で棄権者があつた場合は、そのレーンをあける。
- ⑧競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑨携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。
- ⑩ 走高跳の最初の高さは、男子：1m40、女子：1m20からとする。
棒高跳の最初の高さは、男子：2m60、女子：2m00からとする。
- ⑪ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習										以降
走高跳	男子	135	140	145	150	155	160	165	170	173	3cm刻み	
	女子	115	120	125	130	135	138	141	144	147	3cm刻み	
棒高跳	男子	250	260	280	300	320	340	360	370	380	10cm刻み	
	女子	180	200	220	230	240	250	260	270	280	10cm刻み	

- ⑫ 棒高跳のバーの上げ方については、天候等のコンディションを考慮し、変更する場合がある。
- ⑬ 三段跳の踏み切り板の位置について、男子：11m、女子9mとする。

6 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。
個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検査は競技開始60分前に招集所にて実施する。
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳

8 表彰について

各種目の1位～3位までの入賞者は賞状を授与する。

9 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室については、大会受付後方スタンド内通路を入れて右側にあるので利用してもよい。
- ④ 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。